

各 位

上場会社名	株式会社 ながの東急百貨店
代表者	取締役社長 中島雅之
(コード番号)	9829)
問合せ先責任者	経営統括部担当部長 島田芳雄
(TEL)	026-226-8181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年9月3日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,641	318	251	116	12.14
今回発表予想(B)	23,846	336	229	113	11.81
増減額(B-A)	205	18	△22	△3	
増減率(%)	0.9	5.7	△8.8	△2.6	
(ご参考)前期実績 (平成22年1月期)	23,839	175	95	67	6.98

平成23年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,040	282	228	107	11.22
今回発表予想(B)	20,230	296	202	101	10.59
増減額(B-A)	190	14	△26	△6	
増減率(%)	0.9	5.0	△11.4	△5.6	
(ご参考)前期実績 (平成22年1月期)	20,178	140	80	60	6.26

修正の理由

百貨店業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続く中、当社は「真のお客様第一」の実現に向け、商品力、接客サービス力の強化を重要課題とし、積極的な事業活動を推進してまいりました。

店頭での「お客様の声」をもとに、品揃えの改善やご不便・ご不満の解消に全社を挙げて取り組み、特に品揃えにつきましては、地域唯一の百貨店としての役割を果たすべく、期間限定商品や話題性商品を積極的に展開するスイングスペースを各階に導入するとともに、高感度で高質な商品の提案を継続して行ってまいりました。

第3四半期以降、「秋華祭」「大創業祭」等の全館催事の強化に努めるとともに、第4四半期におきましては、歳暮ギフトセンター及び新年初売りの打ち出しを軸に、「ポイントアップキャンペーン」等のカード会員向け施策や固定客の来店頻度向上や新規顧客の獲得を目指した新企画の開催を積極的に行ってまいりました。

この結果、10月以降1月までの4か月間連続して前年実績を上回る売上高を確保することができ、通期の売上高につきましても前期実績を上回る結果となりました。

一方、経費面におきましては、全ての経費をゼロベースで見直し、仕組みや業務内容の合理化を徹底し、諸経費の削減に努めてまいりました。

この結果、個別の通期での売上高は、前回予想を190百万円上回る20,230百万円(前期実績20,178百万円 0.3%増)、営業利益は前回予想を14百万円上回る296百万円(前期実績140百万円 111.4%増)となる見込みであります。

一方経常利益は、商品券回収損引当金繰入額等が予想を上回ったことなどにより、前回予想に対し26百万円減の202百万円(前期実績80百万円 152.5%増)、当期純利益は6百万円減の101百万円(前期実績60百万円 68.3%増)となる見込みであります。

連結業績につきましては、子会社株式会社北長野ショッピングセンターが予定の売上には届かなかったものの、徹底した経費の有効活用に努めた結果、売上高は205百万円増の23,846百万円(前期実績23,839百万円)、営業利益は18百万円増の336百万円(前期実績175百万円 92.0%増)、経常利益は22百万円減の229百万円(前期実績95百万円 141.1%増)、当期純利益は3百万円減の113百万円(前期実績67百万円 68.7%増)となる見込みであります。

なお、平成23年1月期決算短信及び次期の業績予想につきましては、平成23年3月15日に公表を予定しております。

以 上